



NSIは 身近な橋のお医者さん 『技術アドバイザー室』 を開設します

橋種は
問いません



(一社)日本構造物診断技術協会は、このたび「技術アドバイザー室」を開設します。橋の維持管理業務を担っている管理者の方、設計者の方あるいは工事に従事する方、お困りごとがあれば橋のドクターである我々にお気軽にご相談ください。

▶ 技術アドバイザー室開設前の当協会への相談例をご覧ください。

特色① 鋼橋、コンクリート橋、下部工など橋種・構造を問わずお受けします。

特色② 「構造物診断士※」を持つ経験豊富な専門技術者がアドバイスします。

特色③ コンサルタントならびに施工会社経験者が実務経験を活かしてアドバイスします。

維持管理業務における計画、設計、工事など幅広くお応えします

※ 構造物診断士について

「構造物診断士」は当協会が認定する点検や診断に対する技術資格です。

国土交通省の技術者登録資格(鋼橋・コンクリート橋の点検・診断業務)として認定されています。

ご相談の受付

当協会ホームページのトップページ [技術アドバイザー室へ相談](#) からお申し込みください。

⇒URL: www.nsi-ta.jp

ご相談内容の項目(構造や部位)を選択できるフォームをご用意しています。

事務局でお受けした後、技術アドバイザー室が窓口として対応いたします。

その他、ご相談フォーム入力前のお問い合わせは下記までお願いします。

〔事務局〕TEL : 03-3343-2651 / mail : nsi@isis.ocn.ne.jp

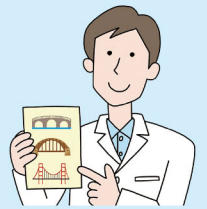
その他対応について

- ご依頼の業務に対しては守秘義務を重視し、必要に応じて協定書を取り交わします。
- 現地調査やレポート作成など費用が発生する場合は経費程度を申し受けます。
- ご相談へのアドバイスの他、技術研鑽を目的とした講師派遣にも対応します。



これまでに寄せられた相談例

「技術アドバイザー室」をつくる以前に当協会へ寄せられた相談の例です。



Q1 橋面舗装にポットホールやひび割れが見られる。考えられる原因と今後の対応策を教えてください。



考えられる原因を提示し、この後とるべき対応方針をアドバイスしました。主構造以外に関する相談でも幅広くお受けします。

Q2 塩害対策を実施後に再劣化したPC桁の対応策を教えてください。



最も可能性の高い原因を提示し、補強とモニタリングを進めるようアドバイスしました。事例の少ないことでも当協会にはいろいろな業種が所属するため対処可能です。

Q3 鋼桁の支承にさび汁の発生が見られる。考えられる原因を教えてください。



さびの発生を誘発する部位の損傷を推測し、その損傷を引き起こす機能低下の原因を提示しました。コンクリート橋も鋼橋も両方ともお受けします。

Q4 桁端の遊間の上部と下部の開きが異なっている。考えられる原因を教えてください。



遊間異常が発生する原因となる構造上の不具合を提示し、この後の調査方針をアドバイスしました。設計上、施工上、両方の側面から適切に対応します。